

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2006-236136 (P2006-236136A)

【公開日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報 2006-035

【出願番号】特願 2005-51787 (P2005-51787)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/02 (2006.01)

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

G 0 6 K 19/073 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

G 0 6 K 19/10 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 12/14 5 1 0 C

G 0 6 F 12/14 5 3 0 D

G 0 6 K 17/00 E

G 0 6 K 17/00 F

G 0 6 K 17/00 T

H 0 4 L 9/00 6 7 3 E

G 0 6 K 19/00 P

G 0 6 K 19/00 H

H 0 4 L 9/00 6 7 3 A

G 0 6 K 19/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 28 日 (2007.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コマンドおよびコンテンツの通信を行う保持通信部と；

コンテンツと，該コンテンツの書き込み可／不可を示す書き込みフラグと，該書き込みフラグを更新するための書き込みパスワードとを記憶するデータ記憶部と；

前記保持通信部に入力されたコマンドの書き込みパスワードが前記データ記憶部に記憶された書き込みパスワードと等しいか判断するパスワード判断部と；

前記パスワード判断部で等しいと判断された場合，前記コマンドに従って前記書き込みフラグを更新するフラグ更新部と；

前記書き込みフラグが書き込み可となっていた場合のみ，前記保持通信部に入力されたコンテンツをデータ記憶部に記憶または上書きするコンテンツ書き込み部と；

コンテンツの読み取り要求に応じて，データ記憶部に記憶されたコンテンツを読み取るコンテンツ読み取り部と；

を備えたコンテンツ保持装置。

【請求項 2】

前記パスワード判断部で等しいと判断された場合、前記コマンドに従って、前記データ記憶部に記憶された書き込みパスワードを、新たな書き込みパスワードに更新するパスワード更新部をさらに備えることを特徴とする、請求項 1 に記載のコンテンツ保持装置。

【請求項 3】

特定のコマンド（強制変更コマンド）が入力された場合、前記データ記憶部に記憶された書き込みパスワードを、予め定められた初期パスワードに強制的に変更するパスワード強制変更部をさらに備えることを特徴とする、請求項 2 に記載のコンテンツ保持装置。

【請求項 4】

前記パスワード強制変更部は、特定のコマンド（強制変更コマンド）に加えてマスタパスワードも入力された場合にのみ、予め定められた初期パスワードに強制的に変更することを特徴とする、請求項 3 に記載のコンテンツ保持装置。

【請求項 5】

前記コンテンツ保持装置は、IC タグであることを特徴とする、請求項 1 に記載のコンテンツ保持装置。

【請求項 6】

コンピュータを、

コマンドおよびコンテンツの通信を行う保持通信部と；

コンテンツと、該コンテンツの書き込み可／不可を示す書き込みフラグと、該書き込みフラグを更新するための書き込みパスワードとを記憶するデータ記憶部と；

前記保持通信部に入力されたコマンドの書き込みパスワードが前記データ記憶部に記憶された書き込みパスワードと等しいか判断するパスワード判断部と；

前記パスワード判断部で等しいと判断された場合、前記コマンドに従って前記書き込みフラグを更新するフラグ更新部と；

前記書き込みフラグが書き込み可となっていた場合のみ、前記保持通信部に入力されたコンテンツをデータ記憶部に記憶または上書きするコンテンツ書き込み部と；

コンテンツの読み取り要求に応じて、データ記憶部に記憶されたコンテンツを読み取るコンテンツ読み取り部と；

して機能させるためのプログラム。

【請求項 7】

コンテンツ保持装置が、

外部機器からのコンテンツの書き込み要求を受信するステップと；

コンテンツの書き込み可／不可を示す書き込みフラグが書き込み可となっているかどうか判断するステップと；

書き込みフラグが書き込み可となっていた場合のみ、前記外部機器から入力されたコンテンツをデータ記憶部に記憶または上書きするステップと；

前記外部機器または他の外部機器からコンテンツの読み取り要求があった場合、前記データ記憶部に記憶されたコンテンツを送信するステップと；

を含むことを特徴とする、コンテンツ伝送方法。

【請求項 8】

前記外部機器から入力されたコマンドの書き込みパスワードが前記データ記憶部に記憶された書き込みパスワードと等しいか判断するステップと；

書き込みパスワードが等しいと判断された場合、前記コマンドに従って、前記書き込みフラグを更新するステップと；

をさらに含むことを特徴とする、請求項 7 に記載のコンテンツ伝送方法。

【請求項 9】

前記書き込みパスワードが等しいと判断された場合、前記コマンドに従って、前記データ記憶部に記憶された書き込みパスワードを、新たな書き込みパスワードに更新するステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 8 に記載のコンテンツ伝送方法。

【請求項 10】

特定のコマンド（強制変更コマンド）が入力された場合、前記データ記憶部に記憶され

た書き込みパスワードを，予め定められた初期パスワードに強制的に変更するステップをさらに含むことを特徴とする，請求項 9 に記載のコンテンツ伝送方法。

**【請求項 11】**

前記予め定められた初期パスワードに強制的に変更するステップは，特定のコマンド（強制変更コマンド）に加えてマスタパスワードも入力された場合にのみ行われることを特徴とする，請求項 10 に記載のコンテンツ伝送方法。

**【請求項 12】**

コンテンツを保持するコンテンツ保持装置と，前記コンテンツ保持装置にコンテンツを書き込むコンテンツ書き込み装置と，前記コンテンツ保持装置からコンテンツを読み取るコンテンツ読み取り装置とからなるコンテンツ伝送システムであって：

前記コンテンツ保持装置は，

コマンドおよびコンテンツの通信を行う保持通信部と；

コンテンツと，該コンテンツの書き込み可／不可を示す書き込みフラグと，該書き込みフラグを更新するための書き込みパスワードとを記憶するデータ記憶部と；

前記保持通信部に入力されたコマンドの書き込みパスワードが前記データ記憶部に記憶された書き込みパスワードと等しいか判断するパスワード判断部と；

前記パスワード判断部で等しいと判断された場合，前記コマンドに従って前記書き込みフラグを更新するフラグ更新部と；

前記書き込みフラグが書き込み可となっていた場合のみ，前記保持通信部に入力されたコンテンツをデータ記憶部に記憶または上書きするコンテンツ書き込み部と；

コンテンツの読み取り要求に応じて，データ記憶部に記憶されたコンテンツを読み取るコンテンツ読み取り部と；

を備え，

前記コンテンツ書き込み装置は，

前記書き込みパスワードを含むコマンドと，コンテンツの通信を行う書き込み通信部；  
を備え，

前記コンテンツ読み取り装置は，

コンテンツを読み取る読み取り通信部；

を備えることを特徴とする，コンテンツ伝送システム。